


## 平成29年度国立天文台研究集会開催報告書

平成30年4月12日

国立天文台長 殿

代表者	氏名	(ふりがな) あがたひでひこ 縣 秀彦 
	所属・職	国立天文台天文情報センター・准教授
研究集会名	CAP2018 (Communicating Astronomy with the Public 2018、世界天文コミュニケーション会議2018 in福岡)	
開催期間	平成30年3月24日 ～ 平成30年3月28日	
開催場所	〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松4-2-1 福岡市科学館	
参加人数	446名	
研究集会の概要	<p>福岡市科学館を会場に世界53か国から446名の参加者を集めたCAP史上最大の大会となり、招待講演・全体講演・分科会・ワークショップと盛りだくさんの内容で、5日間、天文コミュニケーションについて多くの議論がなされた。また、多彩な付帯イベントを通し、会議の目的の一つである天文コミュニケーター同士のネットワークングという観点からも、大いに成果が上がったものと思われる。</p> <p>「世界天文コミュニケーション会議 (CAP)」は、天文学に携わる総ての人と一般社会とのコミュニケーションに関する最近の取り組みについて、様々な意見や経験を交換する場として、2005年に国際天文学連合内に設置された国際会議。この会議を通じて、効果的で実績のある数多くの科学コミュニケーション事例が紹介されてきた。国際会議のため、プログラムはすべて英語で進行。</p> <p>CAPで得られる知見を参加者が母国に持ち帰ることで、各国における天文学・天文科学文化の発展、市民参加の推進などが期待され、すべての参加者の活動の幅が広がることを期待できる。国境を越えて、言葉や習慣、信仰や信条の違いを乗り越えて人類が一つになっていくことに寄与することが本会議の目的の一つ。</p> <p>この国際会議の主催は、国際天文学連合コミッション2「Communicating Astronomy with Public」によるもの（国際天文学連合IAUには世界98の国と地域から10,000名が加盟、国際協力を通じて、あらゆる面で天文学の発展を促進し保障していくことを使命としている）。</p> <p>今回のCAPでは、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台と福岡市は、互いに天文学研究機関として果たすべき責任と自治体として積み重ねた科学コミュニティとの協働の実績を携えて、CAP2018開催のために手を取り合った。天文学のアウトリーチや教育を担う国際コミュニティを日本に迎え入れ、日本そしてアジア地域の天文学コミュニケーション分野の最新の進展を直接体験してもらうことがホストである国立天文台のミッションであった。</p>	

<p>研究集会の成果</p>	<p>CAP は2005 年の初開催以降ほぼ2 年に一回の頻度で開催されており、今回は第7回目で、北京に次いでアジアでは2 度目の開催であった。研究発表や実践報告が計305件（口頭170件、ワークショップ24件、ポスター発表111件）。参加者数、参加国数、発表数ともに過去の大会を圧倒的に凌駕する国際会議となった（前回の2016年コロンビア・メディジン大会は、約20カ国から140名参加。発表数147件）。</p> <p>日本からの参加者も198名と多かった。前回までは最大で10名程度だったので、今回の国際会議では、海外の先進的な取り組みを知り、つながっていく機会として重要であったのはもちろん、日本における多様な天文系科学コミュニケーションを海外からの参加者に知っていただき、情報や人脈を持ち帰っていただく極めて貴重な機会となった。</p> <p>なお、これらの成果は集録誌として平成30年7月に刊行予定である。</p> <p>本研究集会がいかに素晴らしい内容であったかは、次の諸情報からも理解できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィシャル・サイト <a href="https://www.communicatingastronomy.org/cap2018/">https://www.communicatingastronomy.org/cap2018/</a></li> <li>・twitter <a href="https://twitter.com/CAPconference">https://twitter.com/CAPconference</a> <a href="https://twitter.com/CAP2018Fukuoka">https://twitter.com/CAP2018Fukuoka</a> <a href="http://twilog.org/CAP2018Fukuoka">http://twilog.org/CAP2018Fukuoka</a></li> <li>*大会初日3月24日にはハッシュェド・タグ #CAP2018 が、オランダ、イギリス、日本（福岡）において、トレンド入りした。</li> <li>・facebook <a href="https://www.facebook.com/CAPconference/">https://www.facebook.com/CAPconference/</a></li> <li>・インスタグラム #Cap2018</li> <li>・クラウドファンディング <a href="https://camp-fire.jp/updates/21790#menu">https://camp-fire.jp/updates/21790#menu</a></li> </ul>
<p>その他参考となる事項 (希望事項も含む)</p>	<p>本国際会議の様子は、2018年3月29日17時からのNHK総合TVニュース・シブ5時に報道されたほか、世界各国でも報道された。</p>